

中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	文 学 部	身 分	教 授
氏名	高橋 宏明		
NAME	TAKAHASHI Hiroaki		

1. 研究課題

（和文）フランス統治期カンボジア王国における徴税制度の基礎的研究

（英文）A basic study of the tax collection system in the Kingdom of Cambodia during the French rule

2. 研究期間

2年間（ 2018～2019年度 ）

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

（和文）

従来のカンボジア近現代史研究において、フランス統治期カンボジア保護王国の税制度に関する研究は皆無に等しかった。本研究は2年間(2018～2019年)で、①前近代カンボジア王国の徴税システムの特徴②フランス統治権力による近代的租税制度の導入・確立の経緯③20世紀前半カンボジア王国内の徴税制度定着の契機、を明らかにすることを目的とした。

研究の1年目は、2018年8月にプノンペン国立公文書館にて文献調査を行い、1910年代～1920年代の徴税関連文書、カンボジア人徴税官の人事ファイルなどを発見・収集した。2019年3月にはフランス・エクサンプロヴァンス国立公文書館には赴かず、プノンペン国立公文書館に行き文献調査を継続・実施した。2年目は諸事情（FLP国際協力演習の学生引率、新型コロナウイルス感染拡大の影響）により、現地調査を実施できなかったため、1年目に入手した史料を再度分析した。

研究成果の一部として、今年5月に、「インドシナ半島の近現代～カンボジアにおける『植民地』と『戦争』の時代を中心にして～」（『東南アジアの仏教世界』所収、サンガ、2020年5月）が刊行される。また、2020年度の本学人文科学研究所紀要に「19世紀中葉カンボジア王国の徴税システム」を発表する予定である。

（英文）

In the study of modern Cambodian history, there was almost no research on the tax system of the Kingdom of Cambodia during the French rule. The purpose of this study was mainly to clarify the characteristics of the tax collection system in the pre-modern Kingdom of Cambodia and the history of the introduction and establishment of a modern tax system by the French government. Through a two-year study, I conducted a literature survey at the National Archives of Phnom Penh to discover and collect documents related to tax collection from the 1910s to 1920s, personnel files of the Cambodian tax collector. Some of the research results will be published in May this year. In addition, I am preparing the next paper.